

柏ウッドテラスが竣工

ボラテック

ボラテック(埼玉県越谷市、中内晃次郎社長)は、体感すまいパーク柏(千葉県柏市)内に木造オフィス「柏ウッドテラス」を完成させた。総工費は約2億9000万円。木造軸組工法の2階建てで、延べ床面積877平方メートルの規模だが、構造材には一般流通材を用い、2階部分の構造材は現しとして木質感を強調している。オリジナル耐力壁「ユニバー」の利用も見どころの一つで、今後、木造非住宅建築の実例モデルとしても活用していく。

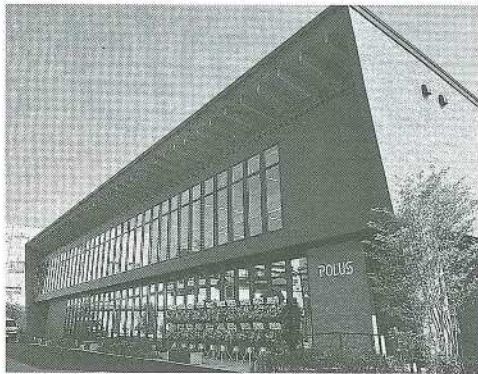
一般流通材利用の木構造モデル

同社には非住宅木造の設計・請負を担う特販部木建推進課があり、9年ほど前から非住宅木造建築事業に力を入れている。

木造ならではのコス

トや工期のメリットが生かせる3階建て、4000〜5000平方メートルの規模の木造建築をターゲットに提案を強化する。

柏ウッドテラスは敷



一般流通材を使った非住宅系木造建築のモデル事例としても活用していく

地1544平方メートル、建築面積は514平方メートル。着工は2022年11月で、今年1月に上棟、3月に竣工した。防音サッシなど様々な機能が盛り込まれていることもあり、工事坪単価は約110万円だが、機能を削減することで同規模の木造建築であれば坪70万円からの建築が可能とする。

総材積は1001立方

メートル。構造材はRウッド

集成材で、柱は105

ミリ角、梁は最大サイズ

で幅450ミリ、長さ6

メートルと住宅向けの一般流

通材のみを使ってい

る。いずれもボラテッ

クの坂東工場(茨城県

坂東市)で加工した。

2階は、柱のほか、

母屋梁、上り梁などの

小屋構造を現しとして

いる。母屋梁は外に突

き抜けている意匠のた

め、外観からも木造らし

さが分かる。

接合部はオリジナル

の金物接合「Bロック

接合金物」を採用。入口側の壁にはオリジナルの壁倍率2・1・5・8倍を実現する耐力壁「ユニバー」を採用することで、大開口のサッシ設置を可能とした。サッシはビル用のものだが、半ビスで取り付けられるYKK APの特注品を採用。溶接は不要で住宅と同じ施工手順で取り付けられる。

同施設は東部アーバンパークラインの線路脇に位置しているが、線路側の壁面には、5ミリ厚と8ミリ厚の樹脂サッシの間に12ミリの空間層を設けた防音サッシを採用。電車が通過し

てもほとんど音が聞こえないほどの高い防音性能を発揮する。また、同施設はオリ



PRO

フヨウプレカット

ジナル構造計算ソフト「ウッドイノベーターNEXT」で計算。基礎と一体で建物を設計する有限要素法による基礎構造の計算で、基

礎梁・地中梁などを削減し、削減したコストを意匠分野に回すことができる。

柏ウッドテラスは常磐事業支店としての機能を果たすが、体感すまいパーク柏にはボラグループの注文住宅4ブランドのモデルハウスがあるため、展示場を訪れた顧客はウッドテラス1階の個室面談室で商談を進めることができる。

2階にはグループ会社の住宅品質保証の事務所があり、新築からアフターサービスまで一気通貫で施主に対応する。